

## 平成 28 年第 11 回庄原市教育委員会 会議録

- 1 日 時 平成 28 年 10 月 21 日 (金) 午前 9 時 30 分開会  
午前 11 時 27 分閉会
- 2 場 所 庄原市役所 本庁舎 5 階 第 2 委員会室
- 3 出席委員 教 育 長 牧原 明人  
教育委員 末信 丈夫、寺西 玉実、横山 和明、中山 智恵子
- 4 欠席委員 なし
- 5 出席職員 教育部長 片山 祐子  
教育部教育総務課長 山田 明彦  
教育部教育指導課長 中重 秋登  
教育部生涯学習課長 花田 譲二  
教育部教育総務課総務係長 宗綱 秀臣  
教育部教育指導課指導係長 東 直美
- 6 傍 聴 人 なし
- 7 議事日程 日程第 1 教育長報告  
日程第 2 個別報告及び協議事項  
その他

－ 開会 午前9時30分 －

教育長 　　ただ今から平成28年第11回庄原市教育委員会を開会します。会議日程に従い議事を進めます。

日程第1 教育長報告

- 教育長 　　日程第1、教育長報告を行います。
- ・ 板橋小学校における体罰事案について
  - ・ 県立学校訪問について
  - ・ 市内小中学校公開研究会について
  - ・ 金藤理絵選手の金メダル祝賀パレード・報告会について
  - ・ 庄原市立図書館の指定管理者導入の検討と庄原市民会館の今後について
- 続いて、教育部長からの報告をお願いします。
- 教育部長
- ・ 学校適正配置検討委員会の検討状況について
  - ・ 広島県無形文化財日本刀製作技術保持者の認定について
  - ・ 大相撲庄原場所の開催について
- 教育長 　　各課報告をお願いします。まず、教育総務課からお願いします。
- 教育総務課長
- ・ 全域的教育環境等整備事業の実施状況について
  - ・ 超高速情報通信網の利用（ひかり電話・インターネットの導入）について
  - ・ 庄原小学校改築事業（屋内運動場改築工事、グラウンド整備工事、旧校舎解体工事、備品整備等）について
  - ・ 廃校施設・備品等の有効活用について
  - ・ 奨学金制度による就学支援について
- 教育長 　　教育指導課からお願いします。
- 教育指導課長
- ・ 「学びの変革」パイロット校事業について
  - ・ 生徒指導対策について
  - ・ 教職員の動向について
  - ・ 発明工夫展作品展示会について
  - ・ 「学校へ行こう」週間について
- 教育長 　　生涯学習課からお願いします。
- 生涯学習課長
- ・ 第66回広島県公民館大会（尾道市）について
  - ・ 庄原市子供の読書活動推進計画第三次計画の策定について
  - ・ けんみん文化祭ひろしま'16洋舞フェスティバルの開催について
  - ・ 比婆山熊野神社解説本「日本誕生の女神 伊邪那美（いざなみ）が眠る比婆の山」出版記念リレー講演会について
  - ・ 第11回庄原市民健康づくりグラウンド・ゴルフ大会について

日程第2 個別報告及び協議事項

教育長 本日の会議には上程の議案がありませんので、日程第2、個別報告及び協議事項に移ります。事務局より説明をお願いします。

教育総務課長 平成28年度教育委員会委員行政視察についてです。今年度の教育委員の行政視察として、11月17、18日の日程で予定しています。視察テーマはコミュニティー・スクールの取り組み、学校適正配置の取り組み、アクティブ・ラーニングを取り入れた学力向上への取り組みという3点です。視察先は初日に山口県光市教育委員会と市立浅江中学校、翌日は美祢市教育委員会と市立大嶺小学校の予定です。

視察の内容・視察先を選定した理由ですが、光市に関しては、コミュニティー・スクール導入率の全国1位が山口県であり、その中で視察が最も多いのが光市です。また、浅江中学校の「あさなえJネット」という取り組みが全国的にも注目されていることで視察も多いと伺い、選定しました。

美祢市については、学校適正配置というテーマで、本市と同様に海に接していない内陸部の市で、人口2万5,000人で本市と似た状況があること。それから平成26年12月に適正配置方針を策定し、取り組みをスタートされていることで、策定後間が無い時期の取り組みについて話を伺うことで選定しています。大嶺小学校については授業を参観し、アクティブ・ラーニングを取り入れた学力向上の取り組みなどについて意見交換を行いたいと思います。

次に行程ですが、前回の会議で寺西委員より公用車での視察はどうかとの提案がありました。公共交通機関を使用するのが原則であること、公用車の調整がつかなかったということで、当初の予定どおり公共交通機関を使用するの視察となります。初日午後に光市を視察し、到着時間が少し遅くなりますが同日中に美祢市への移動となります。翌日は午前中に美祢市の視察を行い、午後は帰路につく内容です。

末信委員 アクティブ・ラーニングについてですが、広島県ではその表現を使っていないという話が県教育長の講話であったと以前報告しましたが、山口県とは取り組みに対する考えが違うのだらうと思いました。国の思いと県の思いの違いがわからない部分があるので教えてください。

教育指導課長 アクティブ・ラーニングの「アクティブ」は行動的という様な意味があると思いますが、行動有りき、活動させれば良いという様なイメージで捉えがちな表現であるため、「深い学びを求めていく」という意味合いの違いから、本県では「アクティブ・ラーニング」という表現を使わないとの話を聞いたことがあります。

教育指導課指導係長 「アクティブ」というと、とにかく活動している、外的な活動しているという様なイメージを持ってしまいます。けれども「頭の中がアクティブという部分をしっかり求めています」ということを広島県ではよく説明の中で話されます。

教育長 補足しますと、具体例としてよく言われるのが、黙っていても考えていけば「アクティブ」だということになります。広島県の解釈では「アクティブ・ラーニング」という表現では、そうではないイメージが先行してしまうので、敢えてこの言葉を使っていないということです。要は主体的な学び、深い学びをメインに置いている訳です。この辺りが両県での違いとなっていると思われれます。

次に、教育委員会会議録の公開について、担当課より説明をお願いします。

教育総務課長

本件は教育委員会議の透明化・活性化の一環として、市ホームページ上に会議録を公開する取り組みです。現在、会議録を調製後、全教育委員に確認、署名をいただき保管している状況です。通常の会議録は20ページ近くになり、これを公開するのは適当ではないということで簡略化したものを公開するよう考えています。

公開版では会議録の圧縮と簡略化を行い、主に議事の概要、個別報告と協議事項の概要について公表します。教育長報告、各課報告等は簡略化するよう考えています。また発言の中で、個人情報特定される部分は削除し、基本的に議事録の半分程度10ページ以内で作成するよう考えています。

次に非公開案件の取り扱いですが、通常でも人事案件などでは「秘密会」としますが、公開版議事録についても審議内容は非公開とし、議案のみを掲載する方向で検討しています。採決内容や状況については、賛成・反対の委員が特定されぬように採決結果のみを掲載し、「全会一致」「挙手多数」といった表現で記します。議事録署名欄については、通常版の議事録では署名をいただきますが、公開版には署名を求めず、署名欄も省略します。

公開の方法、時期については、現行の会議録の決裁後、議事録署名が完了したのについて速やかに公開版を作成し、2カ月以内に市ホームページへ掲載したいと考えています。正式な会議録を翌月の教育委員会議にて署名をいただき、その後、公開版を調製していく流れになります。本年度4月以降のものを公開の対象とし、4月から7月分を11月中に公開するよう進めております。その後は随時2カ月以内に公開するようにします。他市の状況ですが、県内では大竹市以外が公開しており、三次市は平成20年度から、安芸高田市は今年1月から公開している状況です。

実際に公開予定の議事録案を資料としています。これは本年度4月のものですが、冒頭に会議の開催内容で、次ページの教育長報告は簡略化しています。日程第2が議事となり、通常版の会議録をほぼそのまま掲載しています。日程第3～5が「秘密会」の部分で議案名のみ掲載しています。このような形で調製し、公開するよう考えていますので、協議いただきたいと思います。

末信委員

現行の議事録が20ページ位だったものを10ページ以内にするのは、現行の議事録を変更するものなのか、議事録と概要版の2通り作るということですか。

教育総務課長

通常の議事録はこれまでどおり調製し、各委員の確認後、署名をいただき保存します。今回説明した公開版は別に今回提示した方針の基に概要版の議事録として、半分以下にボリュームを落としたものを公開するというので、最終的に2種類の議事録を作成することになります。

教育長

資料は付けますか。

教育総務課長

資料は付けません。

教育長

そうした場合、資料に関する説明が出たときに何のことか読む人には伝わり難くなりませんか。説明だけを箇条書きにして載せる案はどうでしょうか。

教育総務課長

会議自体も傍聴を認める公開の会議ですので、資料を公開することは可能です。

資料を公開すれば事務的にも効率的ですし、資料の引用によって分かりにくくなるということもないので、そのようにさせていただければと思います。

教育長 議案説明などはここまで詳しく言う必要がありますか。例えば、項目ごとに列挙し日程第1にして、資料を付けて「～について説明した。」として詳しい説明は省略もしくは資料参照と書いて、それから議論するという流れでもっと簡単にできるのではと思いますが、説明の部分だけは簡略化するとかはどうですか。

教育総務課長 各市が公開している議事録を参照しましたが、提案説明のとおりほぼそのまま載せているところがかかなりあったので、今回この様に提示しています。議案ですので、どのように説明し、どのように審議がなされたかということで、このようにさせていただいています。ただ、教育長が指摘されたように、別途提案説明という形は、議案なども別に公開している市もあります。

横山委員 今年度から新たに市のホームページで公開が始まるということですね。

教育総務課長 会議録はこれまでも作成していましたが、公開は初めてです。

横山委員 確認ですが、本年度4月分からの11月中の公開ということですか。

教育総務課長 そのとおりです。

寺西委員 口語体で記載されているので文体を変えていただくか、不要な言葉を省略してもええですか。それから、正式版の議事録は会議後に回覧して署名をしていますが、公開版については事前に確認させていただきたいと思います。その場で読むのは難しいので、できれば事前に見せていただく形にさせていただけたらと思います。

教育総務課長 できるだけ早く公開を開始したいということで、正式な議事録の確認、署名後は、不要部分を削るという判断でしたが、公開時期が多少遅れても事前に確認いただくということでよろしいでしょうか。また言葉の修正については通常版の会議録もそうですが、主旨ということで記載していますので、公開版でも発言者の意図を汲めるよう調製には注意したいと思います。

教育長 文体については簡略化に努めるということでもよろしいですか。「です」「ます」調ではなく、「いる」「ある」調にしてはどうですか。それと公開版について委員に事前確認をいただくことでよろしいですか。

寺西委員 公開版については、教育委員会会議の中の抜粋なので、その旨がわかるようにしていただけたらと思います。

教育総務課長 正式な会議録を要約する形になるので、概要版ということをつけてお諮りします。

教育長 「です」「ます」調の文体についてはどうですか。正式な会議録も「いる」「ある」調で調製し、それを要約すれば手間もかからないのではないかと思います。

寺西委員 事務局の負担にならない方法で対応していただければと思います。「です」「ます」調の方が文章的にはわかりやすいと思います。公開していただくには「です」「ます」調の方が良いと思います。他の地域ではどうなっていますか。

教育総務課長 簡略化されているところでは「いる」「ある」調です。

教育長 では事務局の負担にならない範囲で対応することでよろしいですか。それと委員に概要版を事前確認していただく件は、これでよろしいですか。

- 教育総務課長 正式な議事録に署名いただいた後、概要版の案を作成し送付させていただきます。期日までに意見がなければ承認をいただいたと判断してよろしいですか。
- 教育長 そのように対応をお願いします。
- 教育指導課長 広島県公立学校教職員人事異動方針について、担当課より説明をお願いします。
- 教育指導課長 広島県公立学校教職員人事異動方針についてですが、この方針は平成 26 年度以降の変更はありません。従って、今年度末に向けての人事異動もこの方針を基に、県と協議していくことになろうかと思えます。幾つか紹介しますと、同一校での在職期間が長期化している教職員がいます。また、新規採用教職員の計画的配置及び異動について、新規採用後同一校に 4 年以上勤務する者は、原則として他市町へ計画的に配置するというものです。
- 教育長 また、管理職の任用と配置は、各学校の状況や課題を踏まえて適材適所に配置するため、広域にわたる人事異動を積極的に推進するというので、本市においても沿岸部等から本市への異動や、本市からの異動も近年人数的に増えている状況です。
- 教育長 「ひろしま給食 100 万食プロジェクト」の実施について、教育指導課より説明をお願いします。
- 教育指導課長 10 月 16 日から 20 日は「ひろしま食育ウィーク」として定められており、10 月 19 日は「ひろしま食育の日」として、県民の食育に関する関心を高めることを目的に、例年この時期に実施されています。
- 教育指導課長 広島県教育委員会が今年度のメニューを募集した結果、応募作品 3,022 点の中から「タコタコライス」が最優秀レシピ賞に選ばれました。受賞したレシピが裏面に掲載されており、このメニューを実際に作ることによって、食育に対する関心を高めていく取り組みで、期間は 10 月 1 日から 11 月 25 日までです。
- 教育指導課長 食数のカウント方法は教室でシールを貼ってカウントする方法と、広島県教育委員会のホームページから食数を入力する方法で集約されます。本市では 19 日にタコタコライスが学校給食で提供されています。また NHK ニュースなどでもこのことが放送されていた様子です。委員もひろしま給食メニューの食数に御協力いただければと思います。
- 教育長 次に、比婆山熊野神社解説本出版記念リレー講演会と、「日本誕生の女神 伊邪那美（いざなみ）が眠る比婆の山」の販売状況について、生涯学習課より説明をお願いします。
- 生涯学習課長 比婆山熊野神社解説本出版記念リレー講演会の第 2 弾として、今回は比和自治振興センターに於いて 11 月 6 日に開催します。講師には執筆者の 1 人でもあります、川島美美子氏に依頼しています。川島氏は島根の風土記を訪ねる会の代表、そしてしまね観光推進会議委員を務められており、「庄原市北部は古代日本文化の先進地」という題名で講演をいただく予定です。
- 生涯学習課長 「日本誕生の女神 伊邪那美（いざなみ）が眠る比婆の山」販売状況について簡単に報告します。印刷部数 3,000 部の内、1,000 部は庄原市用に、2,000 部は流通用として、南々社という出版社で製本しています。本市分 1,000 冊については、約 650

冊を各関係機関へ配布・寄贈用に準備したもので、関係機関については、県内各自治体・教育委員会・図書館などの公的機関や、市に関連の深い皆様や議員の皆様などです。残り 350 冊は本市での販売用にしたのですが、10 月 3 日から先行販売を開始し、10 月 10 日には完売しています。

南々社分 2,000 冊については、現在全国の各書店で販売されており、市内でも 4 書店で販売していただいています。最初の注文分は完売していて、現在、再度納品をしていただいているところです。

11 月には南々社より最終的な報告を受ける予定ですが、2,000 冊についても売れ行きが好調で、当初 600~700 冊の在庫を抱えていましたが、それもほぼなくなる状態と伺っています。増刷については販売管理費などの兼ね合いもあり、今後南々社と検討していくこととなります。いずれにせよ、多くの方がこの比婆山熊野神社解説本に目を通されており、良い評価をいただいているという状況です。

中山委員

この比婆いざなみ街道は、これから観光地にしていくつもりで現地ボランティアや自治振興区と連携されるとか、街道沿いの活性化や熊野神社周辺の見どころを増やしていくことも計画されていると思うのですが、今回のリレー講演会も踏まえて、今後の計画について教えていただけたらと思います。

生涯学習課長

比婆いざなみ街道は、いちばんづくり課を中心に進めている事業です。ご存じのとおり、市北部、中国道東城インターチェンジから尾道松江道高野インターチェンジのラインを「比婆いざなみ街道」としています。

これは、道路改良も含めてその周辺にある観光名所や歴史・文化を PR していくというのが大部分で、教育委員会としては、この中で歴史・文化面を担うこととなります。今回は比婆山一帯の古事記の伝説について紹介することで、今後はこれらを活用した様々な PR 活動を展開したいと思っています。いざなみ街道の中にある自然や歴史に多くの方が触れていただけるよう、様々な取り組みを考えています。

中山委員

伝える人がいないとその場で終わってしまうと思います。教育委員会としてもやはり地元の人と協力して、そういった人材を育てていくことが大事だと思います。

生涯学習課長

具体的には、比婆山熊野神社には「ツイハラ会」という団体があり、教育委員会の職員も一緒にボランティアでガイドなどの活動を行っています。そういった活動支援も方法の一つですし、高野や東城も今後 PR をしながら、併せてガイドの養成も当然必要になると思います。

教育長

その他として、これまでのことも含めて何かありましたらお願いします。

寺西委員

・ 広島県市町教育委員会連合会研修会について

中山委員

・ 学校教職員人事に関することについて

横山委員

・ 児童・生徒の動向及び教職員の動向について

教育長

以上で平成 28 年第 11 回教育委員会を閉会します。

— 閉会 午前 11 時 27 分 —